

### ■平成22年度 定期総会

当会の平成22年度定期総会が、去る4月20日(火)16時より、宇都宮市上大曾町の「ホテル東日本宇都宮」にて開催されました。

総会は高畠副会長の司会で定刻どおり開会となり、溝田会長のあいさつと、来賓の栃木県保健福祉部薬務課の薄井課長の紹介とあいさつの後、議事に入りました。当会の規約により溝田会長が議長となり、まず、事務局から出席者の報告(正会員54社のうち、出席29社、委任状提出22社)があり、総会が成立していることが確認されました。議長が議事録署名人2人(HOYA・新井氏、東色ピゲメント・斎藤氏)を指名したのち、第1号議案「平成21年度事業報告」と第2号議案「平成21年度収支決算報告」が一括上程され、岸根監事の監査報告の後、慎重に審議された結果、原案どおり承認されました。

続いて第3号議案「平成22年度事業計画(案)」と第4号議案「平成22年度収支予算(案)」についても同様に原案どおり可決されました。

第5号議案の役員改選については、議長が役員(理事及び監事)の選出方法について諮ったところ、事務局に一任したい旨の発言があり、異議がなかったことから、事務局案のとおり新しい役員が選出されました。

続いて別室で新しく選出された理事による互選で、会長に持田製薬工場(株)の溝田雅洋氏、副会長にはマニー(株)の松谷氏、久光製薬(株)の田中氏、中外製薬工業(株)の高畠氏が選出されました。

最後に新役員の方々から挨拶があり、平成22年度の定期総会が閉会となりました。

総会終了後、優良従業員の表彰式を行いました。この表彰式は、当会会員である各企業において、長年、従業員として勤務し、その成績が模範となる方を、定期総会の席上で表彰するものです。高畠副会長の受賞者選考経過説明の後、溝田会長より受賞者19名へ表彰状と記念品が贈呈されました。



溝田会長あいさつ



薄井薬務課長あいさつ

### 優良従業員表彰受賞者一覧

(敬称略)

#### 勤続30年以上

HOYA(株)	永嶋 敏雄
HOYA(株)	細谷 真弓
不二テックス(株)	小川 忠
不二テックス(株)	石河 勝美
不二テックス(株)	高田 輝雄
不二テックス(株)	近藤 孝

#### 勤続20年以上

興和(株)	海老原 ゆき子
興和(株)	阿部 誠子
グラクソ・スミスクライン(株)	大島 昌弘
グラクソ・スミスクライン(株)	福田 訓子
栄研化学株須事業所	古橋 弘康
(株)シーボン	須藤 陽子

#### 勤続10年以上

(株)シーボン	稻見 博之
(株)シーボン	高木 健仁
日本フロイド(株)	小松原 治
日本フロイド(株)	金子 吉男

# 新役員あいさつ

新たに就任された理事の方々からご挨拶をいただきました。

## グラクソ・スミスクライン株式会社　淺野 雅幸 様



この度、前任の徂徠から引き継ぎ、栃木県薬事工業会の理事を務めさせて頂くことになりました、グラクソ・スミスクライン株式会社の淺野です。

弊社今市工場は日本で唯一のグラクソ・スミスクライン社の生産拠点であり、錠剤・軟膏等の製造・包装を行っております。また、海外で製造されたグラクソ・スミスクライン社の医薬品の日本への供給拠点としての役割も担っており、日頃より薬務課、そして薬事工業会の皆様には多大な御指導・御鞭撻を賜っております。この場をお借りして御礼申し上げます。

今後も薬事工業会の発展のため、微力ではありますが職務を果たして参りますので、御指導・御鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

## 栄研化学株式会社　窪田 信幸 様



この度、前任の内藤から引き継いで栃木県薬事工業会の理事を務めさせて頂くことになりました、栄研化学株式会社信頼性保証統括部の窪田です。

弊社は臨床検査薬の専業メーカーであり、那須工場は1984年に東京都北区から免疫化学反応を原理とした高感度分析試薬の開発生産業務を移転して操業を開始しました。現在は免疫化学法に加え、遺伝子增幅法を原理とした検査薬の開発製造を行い、SARSや新型インフルエンザなど新興感染症検査キットも生産しています。

私自身は入社以来研究開発関連業務に従事していましたが、昨年より品質及び安全保証業務、薬事関連業務、ISOマネジメントを担当する現職に就き、薬務課の皆様には何かと御指導をいただくことが多い業務に携わっています。

今後、薬事工業会の発展のため、微力ながら理事としての職務を果たして参りたいと思いますので、御指導・御鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

## 東芝メディカルシステムズ株式会社　松尾 秀隆 様



この度、前任の古川から引き継いで栃木県薬事工業会の理事を務めさせて頂くことになりました東芝メディカルシステムズ株式会社の松尾です。

当、東芝メディカルシステムズはMade for Lifeをスローガンに、CT、MRIをはじめとした画像診断機器から、病院内の情報システムまでの開発・生産・販売・保守までを行う医療機器メーカーです。株式会社東芝那須工場が1979年に栃木県大田原市に移転して以来、国内の生産拠点として、栃木県より国内及び世界に医療機器を送り出しております。

今後、薬事工業会の発展のため、微力ではありますが責務を果たしていく所存でございます。何卒よろしくお願ひいたします。

## 株式会社ナカニシ

## 中西 英一 様



この度、本年度より栃木県薬事工業会の理事を務めさせて頂くことになりました株式会社ナカニシの中西です。

弊社は、本社及び工場を鹿沼市に置き、歯科機械の製造販売をメインに行って、今年で会社創立59周年を迎えました。

最近では、動物用医療機器、外科用医療機器の分野にも進出しています。弊社の製品は、世界135カ国以上に直接輸出し、海外販売拠点も12カ所となっています。

今まで薬務課、栃木県薬事工業会の皆様には多大な御指導を賜って参りました。

今後、薬事工業会の発展のため、微力ではございますが、理事として御協力させていただき、少しでもお役に立てればと思っております。よろしくお願いいたします。

## 花王株式会社

## 上田 国義 様



この度、前任の岸根から引き継いで栃木県薬事工業会の監事を務めさせて頂くことになりました『自然と調和する こころ豊かな毎日をめざして』でお馴染みの花王株式会社栃木工場の上田です。

弊社栃木工場は、1975年12月1日、花王6番目の工場として設立し唯一内陸部に位置し、美しい空と風の中で周囲と調和を図りながら今日まで発展してきました。

栃木工場では、サニタリー製品（子供用紙おむつメリーズ、生理用品ロリエ）をメインにホームケア製品（トイレクイックル・クイックルワイパー）、調合香料の製造をしております。

今後、薬事工業会の発展のため、微力ではありますが監事として努めさせて頂きます。薬務課並びに薬事工業会の皆様の御指導・御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

### 平成22年度 栃木県薬事工業会役員一覧（敬称略）

役職名	氏 名	会 社 名	役職名	氏 名	会 社 名
会 長	溝田 雅洋	持田製薬工場(株)	理 事	窪田 信幸	栄研化学(株)
			理 事	坂倉 浩夫	田辺三菱製薬工場(株)
副会長	高畠 久幸	中外製薬工業(株)	理 事	浅野 雅幸	グラクソ・スミスクライン(株)
副会長	田中 哲好	久光製薬(株)	理 事	富永 英夫	ジェーピーエス製薬(株)
副会長	松谷 正光	マニー(株)	理 事	塚原 澄子	(株)シーボン
			理 事	松尾 秀隆	東芝行李システムズ(株)
監 事	上田 国義	花王(株)	理 事	村田 友次	日本サーファクト工業(株)
監 事	栄谷 治	興和(株)	理 事	中西 英一	(株)ナカニシ
監 事	坂ノ上君雄	全薬工業(株)	理 事	土井 克彦	フォルテクス・ウメデ・イカル(株)
			理 事	小野塚文雄	不二ラテックス(株)

## ■平成22年度 一般会計収入支出予算

定期総会で可決された当会の平成22年度一般会計予算は次のとおりです。

収入の部 (単位：円)

科 目	予 算 額
1 会 費	5,302,000
2 県からの受託金	450,000
3 事 業 収 入	50,000
4 雑 収 入	7,813
5 繰 越 金	2,220,187
収 入 合 計	<b>8,030,000</b>

支出の部

(単位：円)

項 目	予 算 額
1 会議費	<b>850,000</b>
1 定期総会	600,000
2 理事会等	250,000
2 事務費	<b>2,750,000</b>
1 職員費	2,050,000
2 事務費	670,000
3 事務局活動費	30,000
3 事業費	<b>3,270,000</b>
1 研修会費	1,870,000
2 表彰費	200,000
3 啓発費	450,000
4 会報発行費	300,000
5 災害時避難所常備薬備蓄事業費	450,000
4 負担金	<b>250,000</b>
1 事務所負担金	200,000
2 各種協議会等	50,000
5 記念大会等準備積立金	<b>500,000</b>
6 予備費	<b>410,000</b>
支 出 合 計	<b>8,030,000</b>

### 事務局職員の紹介

転 出			転 入		
役職名	氏 名	転 出 先	役職名	氏 名	前 所 属
係 長	永井 伴幸	県西健康福祉センター	主 査	長谷 恵子	県南健康福祉センター
主 任	松下 和裕	保健環境センター	技 師	浦島 昌久	県東健康福祉センター

## 平成22年度 薬草教室の開催

去る5月29日(日)に、県薬務課主催の平成22年度薬草教室(薬草観察会)が、佐野市(みかも山公園ハーブ・薬草園)で開催されました。

本事業は薬用植物の普及啓発を目的として実施しているもので、薬事工業会でも協賛している事業です。

当日は薄曇りで日差しも弱く、薬草観察にはちょうど良い天気になりました。休日でもあり、大変多くの参加者が集まりました。

みかも山公園は、佐野市と岩舟町にまたがる三毳山の一部を利用した栃木県の県営都市公園の一つで、標高25m~209mと高低差があり、アカマツ、クヌギ、コナラなどの樹木に囲まれた自然豊かな公園です。園内の展望台からは渡良瀬遊水池、快晴の日には東京の高層ビル群、富士山、筑波山、日光連山、上州の山々を眺められるそうです。

薬草教室を行ったハーブ・薬草園には約100種類の薬草・薬木が植えられており、四季折々の香りと色彩を楽しむことのできる公園です。

当日は、講師として有澤宗久氏(国際医療福祉大学教授)、池上文雄氏(千葉大学教授)及び渕野裕之氏(独立行政法人医薬基盤研究所薬用植物資源研究センター筑波栽培研究室長)の3人をお招きしました。講師の先生と共に3班に分かれ、約1時間にわたり園内の観察会を行いました。講師の先生方の丁寧な説明があり、参加者の皆さんは楽しそうに聞き入っていました。

観察会の後は有澤氏から「地球からの贈り物 身近にある薬 薬用植物」と題して講演があり、参加者は熱心に聞き入っていました。

講演の後の質疑応答では、山に入って自然の薬草を観察するにはどうすれば、とか、庭の雑草の中にも薬草はあるのか、薬草をお茶にするにはどうしたらよいのかといった質問が出されました。

終了後に実施したアンケートでは、多くの参加者から「大変楽しく参考になった」「もう少し時間があるとよかったです」といった意見が寄せられました。



## 「県内医療・理工系学生のための工場見学・懇談会」開催される

去る9月16日（木）、本年度事業の一つである医療・理工系学生の工場見学・懇談会が、中外製薬工業㈱宇都宮工場の御協力を得て開催されました。

平成17年度から薬事工業会事業として開催しているもので、医薬品や化粧品等の製造工場を見学しています。

当日は、国際医療福祉大学薬学部及び帝京大学理工学部の学生と関係者合わせて19名の参加者がありました。

JR宇都宮駅東口のポートホテル宇都宮に集合し、昼食をとった後、貸切バスで30分ほどで清原工業団地内の工場に到着しました。高畠工場長をはじめ工場スタッフの皆様の歓迎を受けた後、さっそく見学会・懇談会が開催されました。

薬事工業会の溝田会長から、主催者としての挨拶の後、当会の副会長でもある高畠工場長から工場の概要説明をいただきました。『すべての革新は患者さんのために』をスローガンに様々な医薬品を作っていますが、宇都宮工場はバイオ医薬品の主力工場であること、そして、現在生産している製品等に関する説明を受けた後、工場内の見学に移りました。

主に製造ラインの見学でしたが、日本初の抗体医薬品であるアクテムラがどのように製造されているのかを目の前で見ることができました。最新鋭の設備の中で、親指ほどの小さな容器に入っていた種細胞が巨大なタンクに入るまでに増殖していくステップを見て、参加者の皆さんは一様に驚きを隠せない様子でした。

見学後は、斎藤事務局員の司会進行により、懇談会に移りましたが、参加者からは、「種細胞から製品になるまでどのくらいかかるのか」、「従業員の中で薬剤師は何人いるのか」「不良品はどの程度出てしまうのか」といった質問が出され、工場側との活発な意見交換が行われました。もっと聞きたいこともあったようですが、午後4時に懇談会は終了しました。参加者の皆さんからは、終了後のアンケートでは、「本当に良かったと思います」、「見学に参加して医療に関わりたいという思いが強くなりました」、「今後もこのような企画をぜひ実施してほしい」といった感想が寄せられました。

最後に、今回の事業を快く承諾していただいた、中外製薬工業㈱宇都宮工場の高畠工場長をはじめ工場スタッフの皆様には多大なる御協力を賜りました。紙上をお借りして厚く御礼申し上げます。



発行日 平成22年10月  
発行所 栃木県薬事工業会  
宇都宮市本町12-11  
栃木会館2階  
TEL (028) 650-6163  
E-mail:yakumu01@beige.ocn.ne.jp